

TIME	内容
	オープニングタイトル
	<p>田村：お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>廣川：廣川陽子です。</p> <p>田村：あれ？ 廣川さんや！ えっなんで？</p> <p>廣川：はい。久しぶりのスタジオ登場です。 先日、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が発令された事を受けまして藤井さんは小さなお子さんのママでもありますので、大事を取ってお休みしていただく事になり、私が参りました。</p> <p>田村：確かに、お母さんが何かあったら一大事ですからね。 で、セットも変わってませんか？</p> <p>廣川：感染症の拡大防止を気をつけたいという事で、私達も少し距離を取ってこの様にしました。</p> <p>田村：この収録自体をねするのが良いのか、しない方が良いのか相当迷いましたが、皆さん家にいるだろうから、あえて注意を促すためにもしっかりと予防したうえで、収録に挑んで皆様にご家庭で楽しんでいただこうという思いで、今日来ましたし、私個人的にも毎日体温チェックして、何かあってもいけないので、ずっと35度しかなくて、逆に大丈夫かという</p> <p>廣川：体温めちゃうくちゃ低いんですね</p> <p>田村：なんか低いみたいでね、ずっと35. 1とか2とか… 今日は35. 6度でね、 ちょっと（体温）あった方なんですけど。</p> <p>廣川：じゃ健康でこちらに</p> <p>田村：そうですね、花粉症以外は、ハイ。順調にバッチリ！い 家族も大丈夫なのでハイ！安全だと</p> <p>廣川：安全な2人でね今日お届けしていきたいなと。思っておりますけど</p>

廣川：番組をご覧の皆さんにお願いです。

令和2年4月7日（火）から5月6日（水）までの期間について、
新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が
発せられました。

市民の皆さまには「外出の自粛」と「イベント開催の自粛」を要請します。
これまで以上に、密閉・密集・密接の「3つの密」を避け、
「感染しない」「感染させない」ための行動をお願いします。

また、新型コロナウイルス感染症に関してコールセンターを設置していま
す。

市の総合的な対応や取り組みについては

「市のコールセンター」 06-6384-0078

新型コロナに感染した可能性がある場合は

「新型コロナ受診相談センター」06-6339-2225

までお問い合わせください。

続いて、市の対応です。

市内の小中学校は、5月6日（水）まで臨時休校します。

公共施設についても5月6日（水）まで休館とします。

また、市主催の行事については6月末までの催しを原則中止、

または延期します。

廣川：皆さん不要不急以外の外室は控えるようにどうぞ宜しくお願い致します。

田村：お願いします。

廣川：ただですね、皆さんずっとお家にいると思うので、
何か楽しんでもらいたいと

田村：そうですね～やっぱり楽しみを届けたいですよ！

廣川：という事で、今回は「吹田の春！花の名所紫金山公園」と題しまして、
紫金山公園の魅力をお届けしたいと思います。

田村：散歩いけない方はこれで楽しんで頂きましょう！

TIME	内容
	<p><u>スパイシー八木さん</u></p> <p>どうも～！田村さん、そして藤井さん、そしてテレビをご覧の皆さん初めまして、私スパイシー八木と申します。どうぞ、よろしくお願いします。料理を作ること、食べることが大好き！スパイシーという名前ですけれども、カレーにこだわっている訳ではございません。</p> <p>すべて雑食性で美味しく頂くキャラクターでございますけれども、さて、今回私は紫金山公園に来ております。</p> <p>なんでも非常に見所のある公園だということなんですが、どのように魅力的なのか。これから、ある方とお会いしまして、いろいろとお話を伺いながら、その魅力を探ってみたいと思います。</p> <p>それでは待ち合わせ場所に、行ってみよう！</p> <p><u>ナレーション</u></p> <p>今回は、吹田で数少ない里山と田んぼ、そして歴史的資産が残された場所、紫金山公園をご紹介します。</p> <p><u>タイトル：吹田の春！花の名所 紫金山公園</u></p> <p><u>ナレーション</u></p> <p>紫金山公園は吹田市のほぼ中央部にあり、広さおよそ8.4ヘクタールもある大きな公園です。</p> <p>園内には7世紀頃、古墳時代の須恵器の窯跡や平安京の瓦を生産していたとされる国指定の史跡など、重要な遺跡が残されています。</p> <p>また、古墳時代に建立したとされる神社など、市民にとっても見所の多い公園です</p> <p><u>スパイシー八木さん</u></p> <p>あれ、なんか樹木医さんみたいに佇んでらっしゃる方がいらっしゃいます。こんにちは、スパイシー八木と申します。</p> <p><u>武田さん</u></p> <p>武田です。よろしくお願いします。</p> <p><u>ナレーション</u></p> <p>この方は、紫金山みどりの会、会長の武田さん。植物にとっても詳しい植物博士です。</p> <p><u>スパイシー八木さん</u></p> <p>この先に、ちょっと小高い丘のようになってますけどももしかしてあれが、紫金山なんですか？</p>

武田さん

いえ、紫金山は高速道路の向こう側にあるんです。

スパイシー八木さん

ということは、下に通る道があるんですか？

武田さん

はい、トンネルがあって、そこを抜けていくと紫金山。

スパイシー八木さん

もっと大きな、さらに広い？

武田さん

はい。

スパイシー八木さん

じゃあ、早速案内をしていただけますか？ よろしくお願いします。
本当に自然の中をゆっくりと歩くことができる、自然の良さを
そのまま生かしたようなつくりですね。

武田さん

そうですね。

スパイシー八木さん

でも、こっちとこっちの風景、全く趣が違いますね。

武田さん

こっちはちゃんと手入れをしている場所。こっち側は、

スパイシー八木さん

奥、茂みになっていますね？

武田さん

何も手を入れていない。手入れせずに放ったらかしにしてある。

スパイシー八木さん

あえて、そうしている？

ナレーション

紫金山公園は吹田市が管理していますが、2000年より市民で作られた紫金山みどりの会がボランティアで市と協働して維持管理するようになりました。

武田さん

普通だともう行政が全部やっちゃうんですけど、ここは自然が大事なので、自然を残そうということで紫金山みどりの会が管理を始めたんですね。

ナレーション

こちらは1年中葉っぱが生い茂る常緑樹を紫金山みどりの会が伐採し、光を取り込むことで植物が育つようにしています。

一方、手入れをしなければご覧の通り、木に覆われて光が遮られてしまうんです。

スパイシー八木さん

手を加えることで、より色々な種類の木が育っていくということですか。面白いですね！

ナレーション

まずは、人の手が加えられていない鎮守の森ゾーンを目指します。

スパイシー八木さん

武田さん、ちょっと、道あります！？ここ、階段になってますね。

武田さん

こういう杭も全部みどりの会で。

スパイシー八木さん

みどりの会の皆さん手作りの散策路ってということは、みどりの会の皆さんが道を拓いていったということですか。

武田さん

そういうことですね。

スパイシー八木さん

キレイにお花が咲いていますね。

武田さん

コバノミツバツツジっていうんですけど、葉っぱが3枚ずつ同じように出てくる。

スパイシー八木さん

3つ付いてる。

武田さん

で、ミツバ。

スパイシー八木さん

小っちゃい葉っぱで、コバノミツバツツジ。
なるほど、ちゃんと名前も由来があるんですね。

武田さん

紫金山という名前は、このツツジから来ている。

スパイシー八木さん

紫の、金の、山と書きますけども、その紫色がツツジの紫、ということですか。

武田さん

そういうことですね。

スパイシー八木さん

なるほど。

ナレーション

いよいよ、手つかずの森の中へ！

スパイシー八木さん

うわ、本当だ。雰囲気ガラッと変わりましたね。

武田さん

変わりましたでしょ。

ナレーション

先ほどとは景色が一変、暗闇が広がっています。

武田さん

冬でも葉っぱが落ちないので、ずっと暗いままでですね。

ナレーション

…と、ここで、暗闇がスパイシーさんを襲います。

スパイシー八木さん

だから、花が咲きにくい…とまあこのように、滑りやすくなるぐらい薄暗いということですよ。

ナレーション

間一髪！危機を回避したスパイシーさん、気を取り直して。

スパイシー八木さん

行ってみよう！びっくりした今～アハハ

ナレーション

続いて訪れたのは、吹田の里ゾーン。なんと公園の中に田んぼがあるんです。

スパイシー八木さん

子供の頃の懐かしい気分を思い出させてくれるような風景ですね。

ナレーション

こちらでは季節によって、様々な植物を見ることができます。

スパイシー八木さん

これ、キレイな花ですね。

武田さん

ヘビイチゴと言います。

スパイシー八木さん

ヘビイチゴ。へ～

武田さん

これはまだなりかけですね。もっと大きい本当に苺みたいな実がなるので。ヘビの出そうなところに生える草。

スパイシー八木さん

ちょっ、ちょっと怖いじゃないですか！ええ！？

ナレーション

さらに、春の七草でお馴染みのあの植物も。

武田さん

これがナズナ。

スパイシー八木さん

これ？

武田さん

はい。

スパイシー八木さん

あ、この白い花。

武田さん

この実の形を見てもらうと、ハート形してますよね。

スパイシー八木さん

本当だ。小っちゃいハート形。かわいい～

武田さん

これが三味線のバチに似ているので、三味線草ともペンペン草とも。

スパイシー八木さん

あ、ペンペン草って聞いたことありますけれども。

えっと、三味線を鳴らすときの音が、「ペンペン」だから？なるほど！
この音ですね！ほ～！

ナレーション

一見なんの変哲も無い田んぼですが、よく見ると馴染み深い植物が
たくさんあるんですね。

武田さん

こういう湿った場所にしか出てこない植物もけっこうあるので
田んぼってものすごく重要な場所ですね。

スパイシー八木さん

ですから、山の上から下に降りてきて、人の住んでいた場所っていうところ
まで全部を見ることができるといことなんですね。

ナレーション

続いては、みどりの会によって手入れがされている里山ゾーン。

スパイシー八木さん

いわゆるソメイヨシノ・桜と、もう一つが先ほどお話ありました
コバノミツバツツジと。
ツツジというと、よく見かける花ではないかなと思いますが、
コバノミツバツツジをこれだけたくさん見られる場所ってというのは？

武田さん

これだけ群生しているところは少ないと思いますね。

ナレーション

さらに、こんな面白い植物も？

武田さん

これはね、触ってもらおうとわかるんですけど。

スパイシー八木さん

これ触るんですか？ うわあ～わあ～。え、なんか、モチモチしてますね！

武田さん

そう。これ、モチツツジっていうんです。

スパイシー八木さん

え、本当にそうなんですか？

武田さん

モチツツジ。

スパイシー八木さん

モチツツジ？

武田さん

はい。

ナレーション

実はこのモチモチには理由があるようで。

武田さん

虫に花が食べられないように。

スパイシー八木さん

あ、外敵から身を守るため！

武田さん

虫が来るとこれ、くっついてしまって食べられないという。

ナレーション

現在は、綺麗に咲き誇っているコバノミツバツツジ。
実はこんな事があったんです。

武田さん

常緑樹がだんだん増えてきて、日陰になるようになって
コバノミツバツツジがあまり咲かなくなったんですよ。
で、それを紫金山みどりの会のメンバーが常緑樹を伐採して、
光をあてるようにしたら、こうワッと一斉に咲くようになったと。

スパイシー八木さん

ということは、みどりの会の皆さんがコバノミツバツツジを復活させた
ということですか。

武田さん

そういうことになりますね。もう20年やっていますから。

ナレーション

紫金山みどりの会が公園の管理を始めて20数年。
森林を守るため、毎月第2土曜日に草刈りや木の伐採などを行なっています。
現在メンバーの平均年齢は75歳。最高齢はなんと84歳！
とってもお元気ですね。

スパイシー八木さん

今、お手伝いすることってできるんですか？

武田さん

はい。いくらでも来ていただいて大歓迎です。

スパイシー八木さん

あ、そうなんですか？

武田さん

はい。

スパイシー八木さん

じゃあ私も早速、お手伝いさせていただいてもいいですか？

武田さん

はい。

ナレーション

ということで、着替え完了です！

スパイシー八木さん

どうですか？

武田さん

いや～よく似合ってますね。

スパイシー八木さん

なんか違和感が全くなさすぎて、ちょっと怖いんですけども。

武田さん

いえいえ。

スパイシー八木さん

さて、その私と同じような服装で作業をしてらっしゃる方がいますね。けっこう大きな木切ってますよ。いや、僕てっきり草刈りのような感じでいたんですけども、どちらかというとなんか林業よりですよ？

武田さん

そうですね、半分林業ですね。

スパイシー八木さん

わかりました、じゃあ頑張ってみたいと思います！

ナレーション

早速、常緑樹の伐採をお手伝いします！

みどりの会1

ちょっとこうなるとるんちゃう？ こっちが上がるとるんと？

スパイシー八木さん

あ、上がってる？ あ～、もうちょっと下向きですか？ こんな感じ？ このぐらいですね、なるほど角度も。

みどりの会2

水平にやって。

スパイシー八木さん

水平にね？こうですね。

みどりの会 2

手元を上げすぎてるの。

スパイシー八木さん

手元が上がってる？

みどりの会 2

いや、あなたの手元だよ！

スパイシー八木さん

私の手元、ああ、なるほど！

みどりの会 2

いや、平行に切って！

スパイシー八木さん

平行に。なかなか…難しいですね。え、結構、切れてきましたよ。

みどりの会 2

いや、あんまり切りすぎないで！！

スパイシー八木さん

えっ、ここで止めとく…。言ってください、言ってください！

みどりの会 2

切りすぎてるよ！もうこっち開いてるわ！

スパイシー八木さん

これ、開いてますね。

みどりの会 2

もう倒れる。

スパイシー八木さん

倒れる！？

みどりの会2

倒れるよ。押したら倒れる。

スパイシー八木さん

押したら倒れます？

みどりの会2・スパイシー八木さん

倒れる！倒れる！

みどりの会2

危ない危ない危ない！もう近づかないで！

スパイシー八木さん

近づかない方がいい？ 止めてます、今。

ナレーション

なんと、木が思わぬ方向に倒れてしまいました。

スパイシー八木さん

ハハッ…、すみませんでした。ちょっとお手を煩わせてしまって。
こういった、適度に人が手を入れることで
美しい花を見ることができるようになったということですか？

武田さん

それといろんな植物が下にもあるので、これにもやっぱり光が
いるんですよ。真っ暗になると本当に何もなくなってしまうので。

ナレーション

みどりの会の今後の課題は？

武田さん

環境を維持して行って、次の世代に繋いでいくという。
それが重要だと思いますね。

スパイシー八木さん

ということは、今テレビをご覧になって興味を示された方、
お手伝いしてみたい方、いらっしゃったら。

武田さん

あ～もうそれは是非来ていただいて。特に若い人に来ていただいて。

もう平均年齢が70を超えていますので、ぜひ若い人に来ていただいてやっていただければと思いますけれどね。

スパイシー八木さん

そうですね、ぜひ。50歳でだいぶしんどかったですから若い世代の方、どしどしお手伝いしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

武田さん

50歳でも一番若いですから。

スパイシー八木さん

今日若手だったんですか僕！？ 若手ですけど経験不足でした、まだまだ。もうちょっと頑張りたいと思います。

TIME

内容

田村：なんなん、この不思議なVTR

廣川：初登場でしたが…

田村：いやいや～キャラ濃すぎるでしょう！
(キャラが) 薄く見えて…

廣川：めちゃ面白かったです (笑)

田村：薄口で見えていることが、すごいギャップで、ずっと気になって
紫金山公園ほとんど入ってこなかった…

廣川：木を伐採するシーンでかなりスパイシーさん怒られてましたね

田村：ロケであんな怒られている人いてる？
若手のチャレンジものだったらいいけど…そもそもあの見た目
あのキャラクターでスパイシーなん？てところから…
濃いよ、結果キャラが

廣川：気になりますね～

田村：気になるのよ～で、見たことないのにロケ慣れがすごいから…

廣川：ぺんぺん草の下りもね…

田村：全然いらんからあそこは、言われんでも想像ついてるから～
ロケ慣れがすごいんですよ
全てが気になるから、紫金山が、すごい遠距離になる
全然、紫金山(至近)じゃないんですよ！遠距離山なんですよ！

田村：何かやるたびに怒られて、次行ってみようって (笑)

廣川：元気になりました！すごく

田村：家出られない(という気持ち)は吹っ飛びましたね！

廣川：紫金山の魅力もね伝わったのではないのでしょうか
以上特集でした。

田村：次行ってみよう！(ジェスチャー)

田村裕のワンポイント手話（1分30秒）	

TIME	内容
------	----

田村裕のすい散歩

田村：こんにちは。

子供：こんにちは。

田村：学童？

母親：お友達。

田村：遊んでたの？学校休みなったから？何をしてたん？

子供：勉強！

田村：勉強してたん？問題出してもいい？ $1+3$ は？

子供：4！

田村：全員分かった？

子供：分かった！

田村：分かったなあ～。+4できるもんな。

子供：できる～

田村：さっき何か見てなかった？

子供：ヌートリア！

田村：いてる？ 見えてる？

子供：顔が出てる！耳が出てる！

田村：耳が出てる？ どれや？

壁の緑のところやろ？ あれをずーっと見ていくんやろ？

子供：緑のところずーっと見ていって。

田村：どれよ？ 一応確認やけど、みんなで俺を騙してないやんな？

子供：騙してないよ！

田村：スゴイね、完全に草と同化してますね！

子供：茶色いからわかりにくい。

田村：分かりにくいな！

子供：そーのでー、又ーちゃん！

田村：ホンマや！いた！ あそこや！完全に草と同化してるやん！
あれぐらいのサイズなんや、もうちょい大きいかと思ってた。
あれは、大人？子供？ 大人！へ～っスゴイなあ

田村：こんにちは！お母さん、何見てんの？

奥さん：屋根の瓦がおかしいかなって。

田村：あの家の？

奥さん：私の家なんだけど

田村：瓦？

奥さん：一番上の先っちょがずれてないかなあと思って。それで見えてん。

田村：ずれてる？ ああ、こうなってるってこと？
ズれてるかも。 よう気づきましたね！
それで、よう家にこれ（オペラグラス）ありましたね！

田村：ヴァイオリン工房？ 行ってみようか。
こんにちは！どうも～

女性：こんにちは

田村：前を通りかかりまして、ヴァイオリン工房というのが気になりまして。
見てもいいですか？

女性：大丈夫だと思います。

田村：スゴイ！J:COMの番組なんですけど、いいですか？

杉山：ハイ！どうぞ！

田村：ヴァイオリンたくさんあるんですけど、見てください。スリッパ立て。
ヴァイオリンですよ。もうヴァイオリンが始まっていますよ。
こちらが工房ですか？

杉山：そうですね。

田村：ここで作業をしている。どういう作業をされるんですか？

杉山：ヴァイオリン作りといっても、いろんなことするんですわ。
楽器自体は300年もつんですが、例えば車の「タイヤ」みたいなね。

田村：これは弦を張るブリッジみたいなもの？

杉山：そうです。
これが、僕が作ったヴァイオリンです。

田村：杉山さんが作られたやつですか？

杉山：1988年製。

田村：32年前。

杉山：ドイツのドイツの修行から戻ってきたとき。5年半いたんですけど。

田村：32年も経ってるとは思えない。
自分で作った楽器が何十年何百年と残っていくという。

杉山：こういう感じですね。

田村：これ、木から削り出すんですか？こんなに湾曲させるんですか？
これは凄い仕事ですよ。これはどうやって？やすりで削るんですか？

杉山：やすりじゃなくて、こういうやつ。

田村：これは職人さんの！すげー！カンナ！これはすごいですね。
これ分かりますか？これで削っていくんですか？細かい作業ですね。
吹田の街でいうと、ヴァイオリン工房っていくつあるんですか？

杉山：吹田だと僕だけじゃないかな。

元々、関東の人間だったんだけど、ドイツから帰ってきたときに子どももいるし、お金もないし、東京は住みにくいなと思って、大阪に生まれて初めてきたんです。

アサヒビールあるでしょ。近くに歩道橋があるんですよ。

そこで「どこにしようかな」と考えてたら、ビールを炊く匂いがしたんです。今はもうしないけどね。

ドイツだと小さな町でも必ずビール工場があって、

それで「ここにしようかな」と思って。それで吹田にしたんです。

田村：なるほど！ドイツがビールの町で、ビールに馴染みが深くて、何か縁を感じたんや、吹田で。おもしろい！

それで吹田で唯一のヴァイオリン工房になって

吹田のみなさんとか近くの方がここに来られるんですか。

杉山：吹田、関西にはお世話になったんでね。

恩返しがちょっとでもできたらと思ってます。

田村：そうですね。ありがとうございました。

廣川：さて、冒頭でもお話ししましたが、
今新型コロナウイルス感染症が拡大している関係で
本来この季節なら楽しめる「お花見」を
自粛されていると思います。

田村：いま（花見）やってたら、
ホンマ頭おかしいっていう目で見られますからね

廣川：そこで今回は、この春季の花が見られていない！という
みなさんに、画面を通して花を楽しんでもらおうと
撮影してきました！
花より団子な皆さんもお家でゆっくりとご覧になっていただきたいと
思います。それではどうぞ～！

廣川：

吹田で楽しむ季節のお花。まずはチューリップから。
こちら、万博記念公園では、見ごろを迎えています。

ここからは、市内の桜をご覧いただきましょう。
まずは、万博記念公園。

続いては、ちょっとマニアック。阪急電車と桜のコラボが楽しめるコチラ。

どんどん行きましょう。
続いては、ノスタルジックな雰囲気なたたずむコチラ。

最後は都会の中に咲く桜。オフィス街とも桜ってマッチするんですね。

田村：思わずキレイで見とれてしまいました～素晴らしかった！

廣川：ということで、エンディングですけど
田村さん、こちらご存じでしょうか？
4月からこんな物が配られているんですけども。

田村：これなんですか？

廣川：おしゃれじゃないですか？

田村：おしゃれな雑誌ですね～なんか街で配っているんですか？

廣川：雑誌かなと思うんですが、
吹田市制施行80周年記念誌ということなんです。

田村：え？そうなん？ 吹田市のやつ！てっきりなんか街で配ってるやつ
かと思いました。

廣川：タウン誌のようにも見えますけど

田村：おしゃれやな～

廣川：イラストレーターは、中村佑介さんという市内在住の方なんです、
有名ミュージシャンの（CD）ジャケットを手掛けたりとか
小説の表紙になってたりとか

田村：なんか見たことのある気がするなこの（絵の）タッチ

廣川：阪急電車のラッピングにこの方のイラストが使われたりしてます。

田村：そうですか～ハ～

廣川：そして（雑誌を）開いて直ぐ…

田村：すごいインパクトですよ！ドーン 葉加瀬太郎さん！
一発目ですよ一発目！

廣川：是非みなさんにも手に取っていただきたいと思いますし
吹田の魅力がすごく詰まっているので、
吹田市民の方たちだけじゃなくて、市外に住んでいる方にも
是非、紹介してもらいたいと思いますね。

田村：ホンマにホンマに～葉加瀬太郎さんのインタビューも読みごたえ
あるし、中村さんのイラストも、最後に特別版が春夏秋冬
（絵が春夏秋冬のイメージで描かれている）として載っているんで
是非みんなに見てほしいですね。

田村：これはどこで手に入るんですか？

廣川：市役所や出張所などで配布しています。
詳しくはシティプロモーション推進室までお問合せください。

田村：今回は以上でございますどうも有難うございました～。
さようなら～！